

特別 § 1 セーフ・フロム・ハーム

【目標】

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 「セーフ・フロム・ハーム」のガイドラインにおいて、指導者としての心構え（＝自覚と責任）を理解させる。
2. スカウト活動の様々な場面で、「ルール」や「マナー」について日頃より確認をしておく必要があることを理解させる。
3. 指導者におけるバディルールの必要性と方法について理解させる。

【指導上のねらい】

1. 指導者として取り組むことは、スカウト教育の質を向上させ、信頼を強めるだけでなく、自らの身を守ることができることを意識させる。
2. グループディスカッションは、活動での心構えについてのふりかえりとして行なう。

【セッションの展開】

1. 展開

(1) 導入 (3分)

自らをふりかえる

(2) 展開

【講義】

- (1) 指導者の心構えを説明（実践編では、再確認をする）
平成31年2月20日付で「セーフ・フロム・ハーム」ガイドラインを更新。
→ (H.O.「ガイドライン」)
 - すべての人の尊厳を尊重する。
 - すべての成人・青少年を平等に扱う。
 - 相手の嫌がることは、自分では善意であっても行わない。
 - すべての人に対し、脅威を与えたり脅威を感じさせたりする言葉を遣わない。どのような悩みにも親身に相談にのり、対応する。
 - ウェブサイトは誰でも見られることを意識して内容を選ぶ。(個人情報、顔写真などは本人または保護者の許可なく投稿しない)
 - 活動中にスカウトの前での喫煙はしない。
 - スカウト活動中は飲酒をしない。
 - 安全で安心できるスカウト運動のために指導者は複数で活動を行います。 → (H.O.「指導者バディールール」)
- (2) 指導者バディールールの運用について
 - ① 2019年2月20日付でコミッショナー通達を発信
 - ② 「指導者バディールール」が適用される場面について説明（ハンドアウトQ&A）。
 - ③ 「指導者バディールール」の運用におけるメリット
 - スカウトおよび保護者からの信頼の向上につながる。
 - プログラム実施安全性の向上につながる。
 - スカウトの指導について一人で悩まずに、共に考えることができる。
 - 指導者同士励まし合い、思いやりの心をもち、高めあうことができる。

担当：

第2日 10:45～11:45 (60分)

●準備品（資材・資料）

グループディスカッション用 WS
・パソコン・プロジェクター
・SfHガイドブック
・SfH 県連盟対応ガイドライン
・指導者バディールール
・2019年2月20日付コミッショナー通達

●留意点

- ①指導者として取り組むことは、スカウト教育の質を向上させ、信頼を強めるだけでなく、自らの身を守ることができることを意識させる。
- ②グループディスカッションは、活動での心構えについてのふりかえりとして行なう。

- 共に経験を積み重ねることができる。
- ④ 必要な対応
 - 指導者が少ない場合は、団内で協力しあうと共に、新しく指導者を確保する。
 - 指導者が一人にならないための、事前の計画及び準備をしっかりと行う。

【グループ作業】

(3) グループディスカッション

<課題>

各場面で指導者として、心掛けていること、意識していること、実践すべきこと（していること）を具体的に挙げてください。

場面

- ① 指導者と指導者の関係
 - ② 指導者とスカウトの関係
 - ③ 指導者と保護者の関係
 - ④ SNS等のコミュニケーションツールの利用・大人同士の関係
 - 指導者とスカウトの関係では
 - 指導者と指導者の関係では
 - 指導者と保護者の関係では
 - SNS等のコミュニケーションツールの利用についての説明・隊・団における取り組みとして（指導者バディルールの周知徹底）
 - 地区・県連盟の取り組みとして
 - コミッショナーの関わりとして
 - 登録前研修
 - 今後の取り組み
- (4) 発表

【講義】

- (1) スカウト活動中の指導者の「ルール」と「マナー」の説明
- (2) 組織的な取り組みの説明
 - 県連盟対応ガイドラインに基づいた対応

3. まとめ (5分)

【講義】

- 指導者として「ハーム」を理解しスカウトへの指導・対応が出来る事は「思いやりを育む教育」に無くてはならない技能である。
- 指導者としての「ルール」や「マナー」を実践することは大切な事であり又指導者自らを守指導者としての「ルール」や「マナー」を実践することは大切な事であり又指導者自らを守る力になる。
- 大人の「ハーム」を認識し、決して加害者に成らないよう自分自身を常にふりかえる姿勢が必要である。
- スカウト・保護者を信頼し、スカウト・保護者から信頼される指導者になることが大切である。
- ボーイスカウト運動では、多くの関係者が組織的な取り組みをして、この活動を支えています。「セーフ・フロム・ハーム」においても、意志の統一、情報の共有が大切である。